

日本電信電話

# SaaS over NGNの展開を加速 —アライアンス拡大が鍵に—

ブロードバンドユビキタス時代のサービス創造グループを目指すNTT。現在、サービス創造の重要なポジションを占めるNGNを核に、「SaaS over NGN」構想に基づくグループ連携を積極的に推進している。SaaS over NGNのコンセプト及び展開状況を紹介します。

## 新たなSaaS市場の創造に向けた「SaaS over NGN」構想

企業を取り巻く環境の変化や技術の進展により、企業のICT戦略が「所有」から「利用」に変化してきており、その実現手段の1つであるSaaS（Software as a Service）の市場が急速に立ち上がる兆しを見せはじめている。注目を集めるSaaSだが、①導入コストが安価、②運用コストの削減、③短期間での導入といったメリットがある一方で、①セキュリティリスク、②サービスの継続性、③カスタマイズの制限などの面で不安視する意見や否定的な声も多く聞かれる。事実、日本は欧米に比べてSaaSの普及率が低いことが

知られているが、その主な理由は、顧客情報などの重要データを、インターネットを経由して外部のデータセンターに預けることに抵抗感を抱く国内企業が相当あることに起因していると思われる。データセンターがいくら堅牢な高セキュリティの環境にあっても、インターネット上にセキュリティリスクが存在する不安をぬぐい去ることはできない。このセキュリティリスクを軽減するインフラとして注目されるのがNGN（次世代ネットワーク）だ。

2008年2月中旬、NTTはNGNを活用した企業向けの重要なアプリケーションの一つとしてSaaSを視野に入れたタスクフォースを設置し、「SaaS over NGN」構想に基づいてNTTグル



日本電信電話株式会社  
研究企画部門 チーフプロデューサー  
端山 聡氏

ープ全体としてSaaS市場を喚起する取組みを開始した。タスクフォースを率いる研究企画部門の端山聡チーフプロデューサーは次のように語る。

「さまざまなパートナーの皆様と協業・連携しながら、NGNを中心とした安心・安全なICT基盤上に新たなSaaS市場を創造していくというのがタスクフォース設置の最大の狙いです。SaaSに関して、最適なグループフォーメーションの検討を含め、さまざまな視点から取り組んでいます。」

## NGNの特徴を活かす「SaaS over NGN」

NGNの主な特徴は、①品質確保（QoS）、②高セキュリティ、③信頼

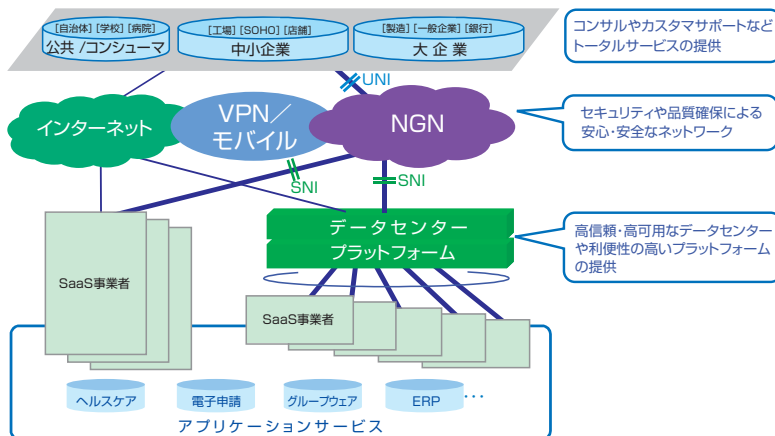


図1 SaaS over NGNのイメージ

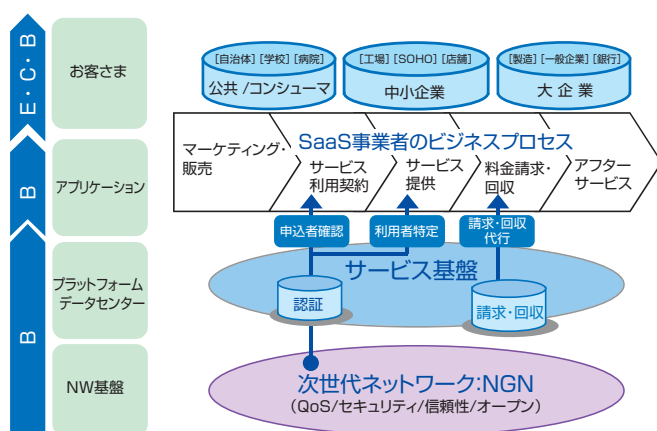


図2 SaaS事業者のビジネスプロセスの支援

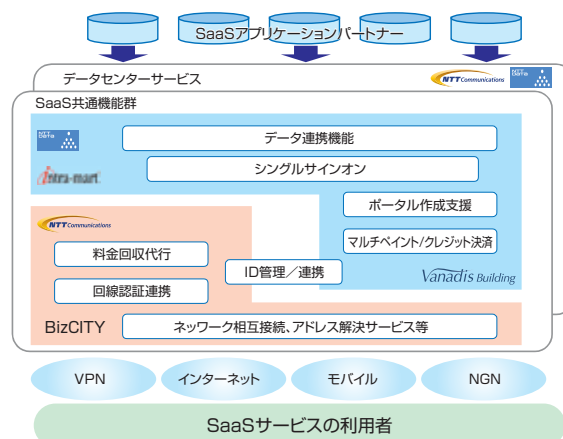


図3 SaaS事業者向けサービス基盤のイメージ

性確保、④オープンなインタフェースの4つが主になる。NGNの回線識別による利用者認証によりインターネットよりも高いセキュリティ環境下でアクセスが実現でき、さらにパスワードやICカード認証を組み合わせた多要素認証により、ユーザーから不安視されるセキュリティリスクを軽減できる。また、サービスの継続性についても、NGNではインターネットに比べて高品質で安定した通信を行うことが可能となる。

しかしセキュリティの高さだけでは、VPN（仮想閉域網）も十分にセキュリティレベルは高く、NGNの独自価値とはいえない。

NGNの独自価値は、利用者が安価かつ容易に高品質のサービスレベルや可用性を手に入れることが可能なことと、SDP（Service Delivery Platform）と呼ばれる、認証機能、課金機能などを具備したサービス基盤にある。このサービス基盤を整備することで、図2に示すように、SaaS事業者のビジネスプロセスを支援することが可能になる。サービ

ス基盤が整備されると、外部のサービスプロバイダーがさまざまな機能をNGNと連携して提供することが可能となり、企業もさまざまな機能の中から自社の業務にマッチした機能を選択・組み合わせることができるようになると期待される。

### SaaS提供事業者向けサービス基盤を共同開発

NTTコミュニケーションズ（以下NTTコム）、NTTデータ、NTTの3社は9月2日、SaaS over NGN構想の一環として、SaaS提供事業者が利用できるサービス基盤を共同開発することを発表した。

これは、NTTコムとNTTデータのそれぞれの強みを活かしたSaaS提供事業者向けの機能を連携させ、レンジの広いサービス基盤をワンストップで柔軟に提供することを目的にしている。具体的には、各種企業ネットワークへの対応を強みとするNTTコムの「BizCITY for SaaS Provider」の機能群と、アプリケーション連携を強みとするNTTデー

タの「VANADIS SaaS Platform」の機能群を連携させる機能を開発する予定である。また、同サービス基盤の実現に向け、NTTの情報流通プラットフォーム研究所の認証連携関連技術をはじめとするNTTの研究所の技術も活用していく。

SaaS提供事業者からの質問、相談などを受け付ける総合窓口「SaaS Support DESK」（TEL：0120-343451、E-mail：saas@ntt.com）も設置している。

以上、SaaS over NGN構想に基づくNTTグループの取組みの現状を紹介した。最後に、端山聡チーフプロデューサは、「SaaSとNGNの親和性は高く、新たな市場が創造されることが期待されます。今後の発展の鍵は、SaaSアプリケーションパートナーはもとより、サービス基盤への機能提供パートナーや、お客様の業務にマッチしたSaaSを提案する販売パートナーなどさまざまな分野の方々とのアライアンスの拡大にあると考えています」と語っている。